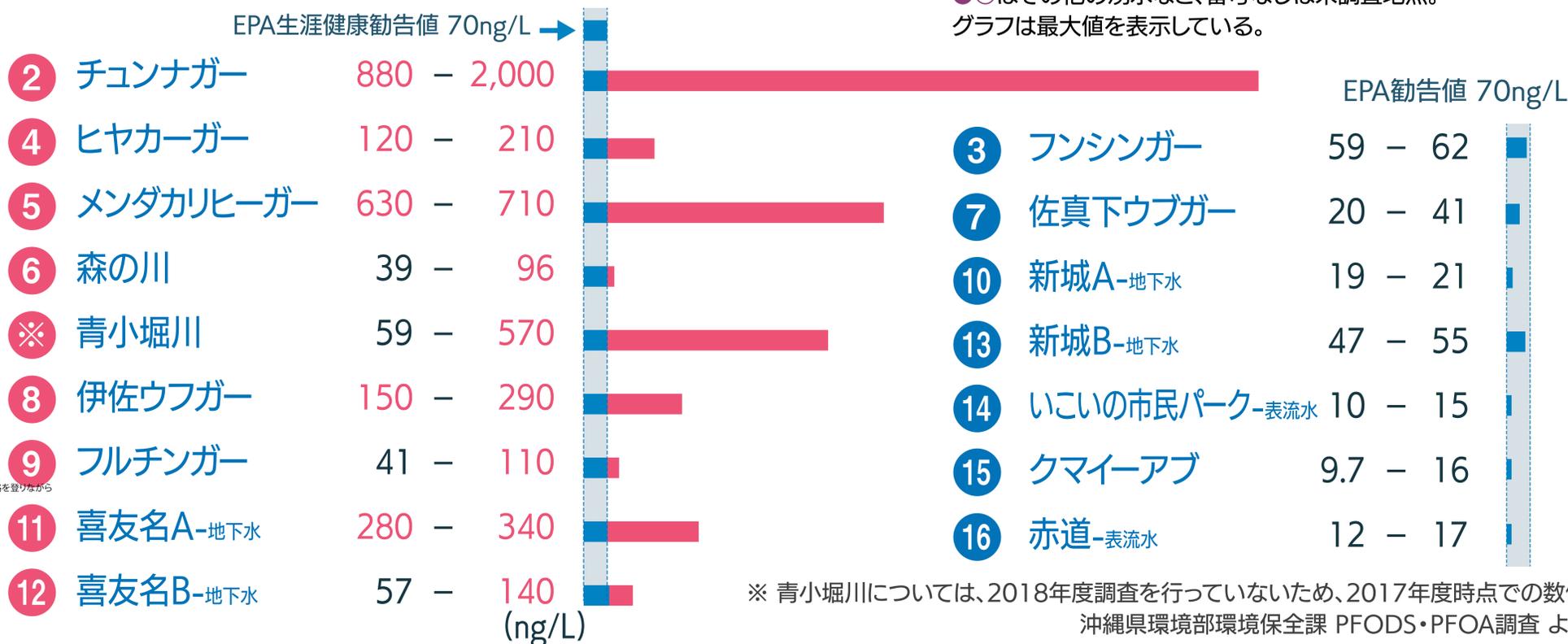




湧水等から検出されたPFOSとPFOAの合計値

数値は2016年度夏季～2018年度夏季間の最大と最小値
●は、EPAの勧告値(70ng/L)を上回る地点。
○はその他の湧水など、番号なしは未調査地点。
グラフは最大値を表示している。



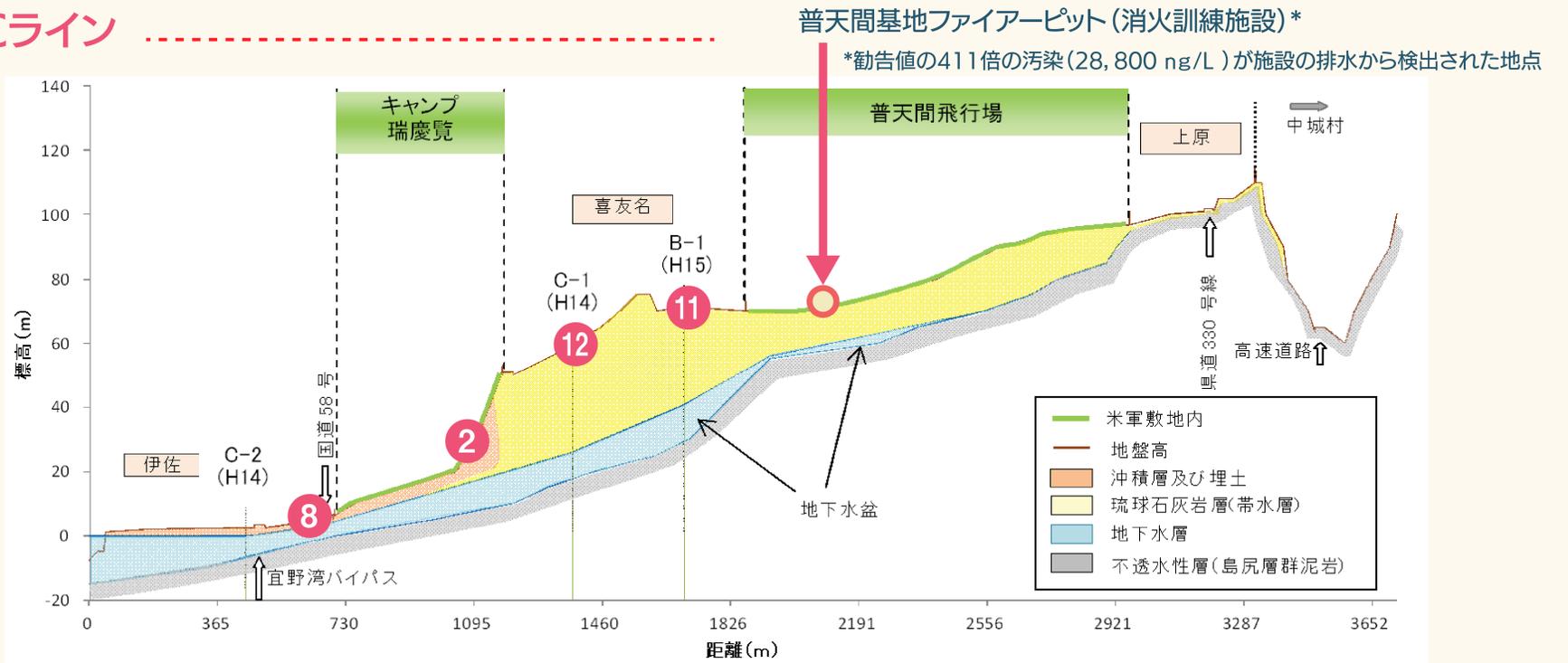
※ 青小堀川については、2018年度調査を行っていないため、2017年度時点での数値
沖縄県環境部環境保全課 PFOS・PFOA調査 より

● 普天間基地ファイアーピット- 廃水 28,800 ng/L
(消火訓練施設)

EPA勧告値
70 (ng/L)

普天間基地のファイアーピットで検出された数値(28,800 ng/L)については、ジョン・ミッチェル氏(沖縄 タイムス 特約通信員)の情報開示請求で明らかになった2016年の米海兵隊環境部門による測定値を元としています。
この汚染は勧告値の411倍となったため、上下のグラフではスケールを変えて表記しています。

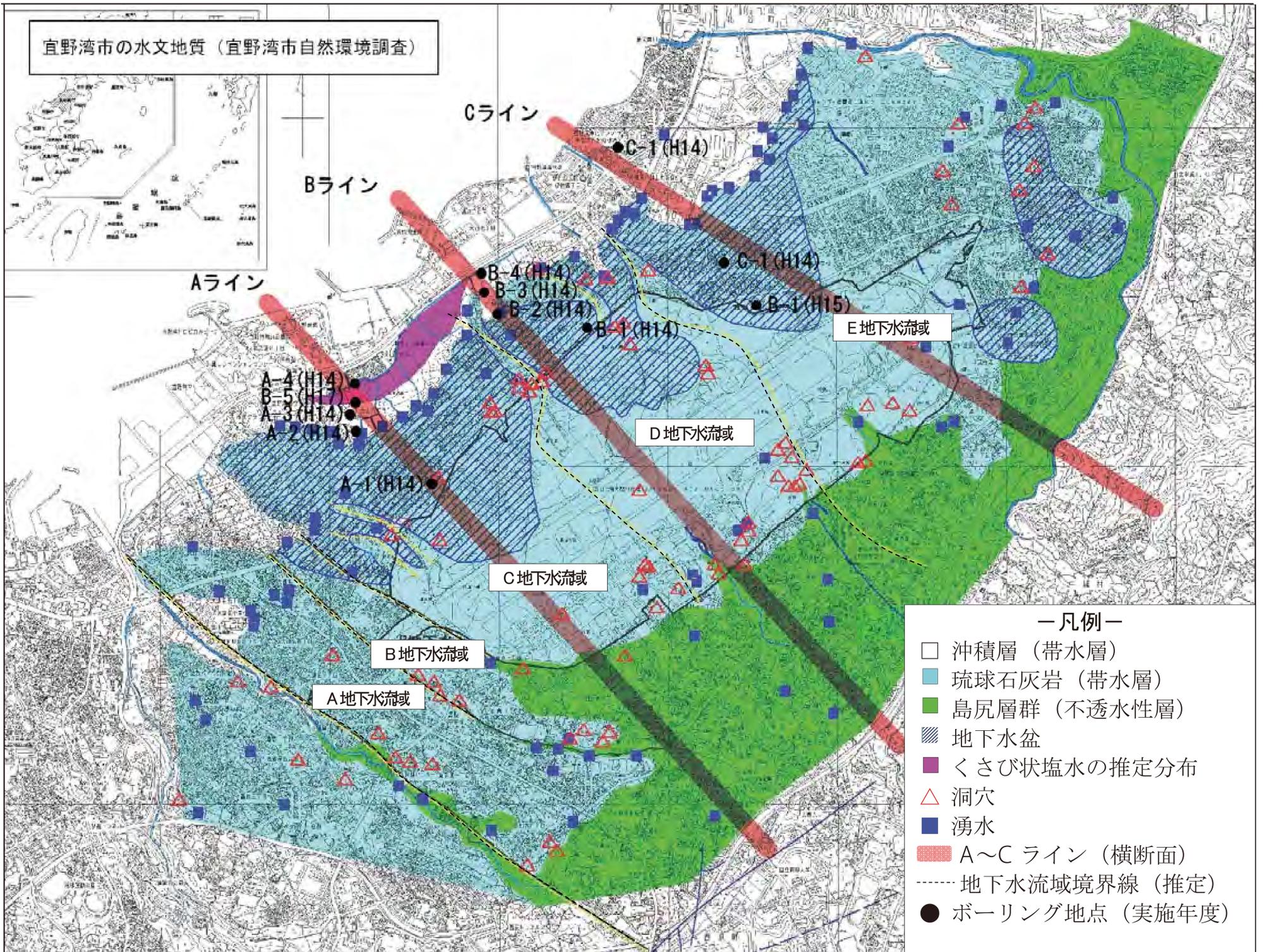
地下水Cライン



8 伊佐ウフガー	150 - 290	
2 チュンナガー	880 - 2,000	
11 喜友名A-地下水	280 - 340	
12 喜友名B-地下水	57 - 140	

EPA勧告値 70ng/L

※断面図参照元:宜野湾市自然環境データベース



宜野湾市自然環境データベースより、宜野湾市の水文地質